

NO. 496

令和元年度
三田市人権ポスター入選作品



人権さんだ

人権さんだは、みなさんに人権に関する気づきや情報などをお届けします。新たな発見や共感したことなどを含めてご意見、ご感想を人権推進課までお寄せください。
問い合わせ＝福祉共生部共生社会推進室人権推進課
(559-5148 FAX562-1294 eメールアドレス jinken_u@city.sanda.lg.jp)



高平小学校6年(前年度)
たぐち みゆみ
谷口 美優さん

社会復帰をめざして ～立ち直りを支える保護司の活動～

私の祖父は保護司をしています。保護司とは、つみをおかしてしまった人がもう一度社会に出られるよう、立ち直りを支えるボランティアです。ボランティアは良い活動だということを知っています。でも、悪いことをした人のため

「もう一度がんばる人」
よりそえたなら」
姫路市立安室小学校五年
松尾 美衣奈

社会を明るくする運動
作文コンテスト
神戸保護観察所長賞

犯罪に走り、刑を終えた人の中には、帰る場所がないまま出所する人が全国で年間約5000人います。その多くの人は、社会復帰のための十分な情報や支援が得られないまま日常がはじまります。また、就職活動をしようとしても、経歴に空白期間ができるため、不採用になることも少なくありません。そのため、生活は不安定になり、3人に1人が2年以内に再び罪を犯してしまい施設に戻っています。

今回は、刑を終えて出所した人の社会復帰への道を支える保護司(※1)の活動を通して、立ち直りを支える社会について考えます。

※1 犯罪をした人や非行のある少年の立ち直りの援助や、地域住民から犯罪や非行の予防に関する相談に応じ、助言・指導を行う民間ボランティア

「一度悪いことをした人も、しっかりと反省しているから認められるよ。それを助けるのが、保護司の役目だからね。」

とにっこり
ほほえみながら教えてくれました。
「一度悪いことをした人は、仕事をするといいことを認められるの?。」



ある日、祖父の家に面接に来た人は、やさしそうなお兄さんでした。お茶を出しにいった私にもていねいにあいさつをしてくれて、とても礼儀正しかったので、こんな良い人が悪いことをしたとは思えませんでした。お兄さんは、覚えい剤を使っただけで、覚えい剤は、しだいに本当の自分がくるっていき、最後には人間ではなくなってしまうおそろしい薬です。お兄さんは、友達にさそわれて断り切れなくて使ってしまった。一度使ったらもうぬけ出せなくなってしまうそうです。でもお兄さんは今、自分のお仕事をがんばっているそうです。お兄さんが帰ったあとに私は疑問に思った事があったので、祖父にそつと質問してみました。

「一度悪いことをした人も、しっかりと反省しているから認められるよ。それを助けるのが、保護司の役目だからね。」

とにっこり
ほほえみながら教えてくれました。
「一度悪いことをした人は、仕事をするといいことを認められるの?。」



人間は時々悪いことをしてしまうけれど、反省してもう一回がんばって進んでいくという気持ちが大切だと分かりました。そして、そんな人たちの助けをすこいと思いついた。それから、面接を受けている人は、お兄さんの様な優しく、刑務所に入ってたとは思えない人がほとんどなのだそう。お兄さんの様に保護司に手助けしてもらって、仕事もして、自分の生きがいを感じる事ができた人は、もう二度と犯罪をしないそうです。でも、自分の居場所が見つからない人が、もう一度犯罪に走ってしまいます。そんなことが二度とない様に、いつも見守り続けている保護司の大変さと大切さがよく分かりました。



三田市人権を考える会 掲示板

- 🍀 **幸せプロジェクト～明るい未来へ～(8月23日(日))**
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。「コロナ」による日常生活への不安はまだ消えませんが、「三田市人権を考える会」は誰もが幸せを感じる人権のまちづくりのための発信を続けてまいります。今後の「三田市人権を考える会」の活動予定は、本紙面にてお知らせします。
- 🍀 **阪神地区人権・同和教育研究大会(7月23日(木))**
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。

※この作文は、原文のまま掲載しています。

きたいです。私はまだ五年生だから出来ることは少ないけれど、保護司というお仕事を心から尊敬して過ごしていきたいです。そして、大人になったら、弱い人によりそい、みんなが安心して過ごせる社会を目指して行動していきたいです。

